

こだま通信

57号



[編集] 特定非営利活動法人こだま

〒690-0048 松江市西嫁島1-1-19

☎&FAX 0852-28-8162

先日から何回か介護サービスをされている方と話す機会があり、障害者サービスとの違いを教えてくださいました。障害者サービスでは、定員の緩和策があって一定程度の定員を超える利用が認めているのに対して、介護サービスでは、定員を超えての利用は禁止になっているなどいろいろ違いがあるようです。

10月下旬に平成29年度介護保険事業経営実態調査結果が公表されました。また、11月初めには平成29年障害福祉サービス等警衛実態調査結果も公表されましたのでお知らせしていきたいと思っております。

介護サービスの経営実態調査は・・・

各サービスの事業経営実態調査は、次期介護保険や障害者サービスの制度の改正や報酬の改定に必要な基礎資料を得る為に、報酬改定の前年度に行われるものです。介護サービスの方を見て見ると、全体の収益額から費用額を引いた、収支差率は3.3%になっていて27年度に比べて-0.5%となっています。事業所あたりの総収入も事業によっては減額となっている実態が示されています。職員の給与に関しては施設サービスでは収益の60%、居宅のサービスでは65~75%となっています。前年に対しての伸び率は、-1.5~+2.5となっており、平均するとあまり変わっていないのが実情のようです。

障害福祉サービスの経営実態は・・・

障害者サービスでは、全体の収支差率は5.9%になっていて、平成26年の調査に比べて-3.7%となっています。収益率が悪くなっていることが伺えます。サービスの中では就労系のサービスの収支差率は10%を超えているのに対して、生活介護などの日中活動系のサービスは、-8.1%、居宅介護でも-3.5%となっています。前回の報酬改定の影響が出ているようです。

こだまが実施している障害者サービスで見ると1施設あたりの平均収入額は、生活介護が69,028(千円) 就労Bが37,993(千円)、居宅介護が11,028(千円)、全体では1事業所あたりの収入は38,007(千円) となっています。こだまはどの事業も最低定員の20名で実施していますが、今回の調査で示された平均的な数字になっ

ています。

障害者サービスの収入に占める給与の割合は、居宅では79.9%、生活介護では61.7%、就労Bでは58.8%となっており、平均では64.4%となっています。建物や備品器具に経費がかからないサービスの、比率が高くなっているのがわかります。

調査では、それぞれのサービス別に職員の給与状況も報告されていますが、それによると居宅介護のヘルパーさんは2,500,695円、生活介護の生活指導員さんは3,504,683円、就労Bの生活指導員さんは3,115,830円の年収額となっています。介護職員の処遇を改善する為に処遇改善費という加算があります。その加算を取得するための要件の中に、職種や資格などのキャリアによって給与体系が決まっているかという項目があります。そのため、職種によって給与額の変動がありますが、主に利用者の方と一緒に活動をする職員さんの給与を示して見ました。

こだまの実態は・・・

こだまの収入に対して給与の占める割合は、79%です。障害者サービスの平均を大きく上回る状況です。こだまの職員給与は職種間での格差はあまりないのですが、平均をだいぶ上回る金額になっています。こうした運営ができるのも平素からこだまの活動を支持していただいて、毎日休まずに利用してくれる利用者の方があってこそです。今後も利用者の笑顔を大切にする活動を進めていきたいと思っています。

【山田 久】

2017年 イルミネーションツアー

こだまの冬の恒例企画「イルミネーションツアー」で花回廊の「フラワーイルミネーション」へ出かけてきました。今年は「点灯式へ行こう！」という初めての試みだったので、例年よりも少し早い時期のイルミネーションツアーの開催になりました。

バスの中では手のひらを使った伝言ゲームなどで盛り上がり、あっという間に花回廊へ到着しました。バスを降りると、さすがに大山の麓というだけあってとても寒かったです。花回廊の園内へ入ると、まずはお腹を満たしました。今年の屋台のメニューは定番の「たこ焼き」や「から揚げ」の他に「カニ汁」や「ラーメン」「肉まん」「コーンスープ」といった体が温まるメニューも多くあり、ほっこりと温まる事ができました。

そんな暖かい食事を楽しんでいると、イルミネーション点灯へのカウントダウンが始まりました。「10、9、8・・・3、2、1点灯!!」。パッと目の前に色とりどりの光が飛び込んできました。園内にいたお客さんの歓声の後にドーン、ドーンと花火も上がりました。私たちのテンションも一緒に上がり食事をサッとすませ、広い園内を光に誘われるように右に左に歩き始めました。花と光の時計や大きなツリーから始まり、ステゴザウルスやティラノザウルスに会えるナイトジェラシック、フラワードームへ続く青い光のトンネルや緑の光のトンネル、法面に輝く光の壁、池に浮かぶような水上花壇など、どこを歩いていても「わ～あ！」と心躍るような演出が盛りだくさんでした。なかでもフラワードーム内のデジタルタワーは21mの高さから音楽に合わせて光が糸のように煌めき上から下へと流れるような演出は下から見ていてとっても綺麗で素敵な空間でした。ドームの周りの回廊からドームを見ると水が流れているように見えドームの中で見るのとはまた違ってとても幻想的で綺麗でした。

花回廊は広いので時間内に全ての場所を見て歩く事は出来ませんでした。冬の澄んだ空気の中なかで光がやくイルミネーションにすっかり癒されたひと時でした。

【山岡 智加】



ボジョレーヌーボー！ 仮装で大はしゃぎ

こだまの晩秋の一大行事になってきたボジョレー企画です。ここ数年は、職員が仮装ペアになって利用者のお宅を訪問ささせていただいています。みなさん喜んでくださいました、と勝手な解釈をしていますが、どうだったでしょうか？

10月の職員会でペアの発表があると、どのペアも秘密を守りながら、その年その年を代表するようなタイムリーな衣装を考えます。さあ、今年はいったいどんな仮装ペアが登場したのでしょうか？

水戸黄門ペアが何と2組も登場、他には女子高校生の姿も2名ありました。アニメ代表ではキテレツ大百科のキャラクターが出没、まだまだいます、理由はわかりませんが、ジャムおじさんにチョッパーのコンビも。意外性で言えば、警察+ドロボーコンビもいるではありませんか。しかし、何と言っても一番今年の旬を表現したコンビといえば、サンシャイン池崎とブルゾンちえみでした。クオリティーといえば、「う～ん」ではありましたが、その挑戦心と勢いには賛美を送りたいと思います。

配達を終わって事務所に帰ったペアたちはそれぞれ記念撮影に興じ、自分たちの仮装のアピール合戦が始まります。今年は金八先生の渡部さんがリードし、サンシャイン池崎の大声合戦が見応えがありました。今年の仮装大賞は、大御所のムーミンコンビを抑えて二人とも何故か女装をした新人職員に決まりました。

毎年楽しいボジョレー解禁日、来年もどんな仮装ペアが登場するのか、乞うご期待下さい。



ショートステイ事業所の見学に行きました

こだまでは、近年ショートステイを利用される方が多くなって来ています。そこで、今年度の保護者の方の研修の一環としてショートステイ事業所の見学を計画しました。予想以上の参加希望が寄せられ関心の高さを伺い知ることができました。

今回、訪問させていただいたのは玉湯町の『まがたま荘』さんと、木次町の『ひまわり』さんの2事業所でした。どちらも快く見学を受け入れていただき、丁寧な説明やお部屋の見学をさせていただきました。ショートステイではどんな生活ができるのか、見学されたお母さん方には具体的なイメージを持ってもらうことができたのではないかと思います。

『まがたま荘』さんでは、ショートステイをする建物が別棟になっていて、全て個室の部屋が8部屋ありました。どの部屋にも、ベッド、テレビが備えてあるほか、簡易クローゼットもあって快適な生活が送れそうでした。そのほか、利用者の皆さんが作業をしている作業棟や今年度から取り組み始めたトマト栽培のビニールハウスの見学もさせていただきました。

『ひまわり』さんでは、二つのグループホームの中にショートステイができる部屋が一部屋ずつ用意されていて、グループホームの利用者の方と一緒に過ごすことができるようになっていました。どちらの建物もまだ新しくとても綺麗に使われていました。

こだまの考え方は、同じ事業所ですべてのサービスを完結するのではなくて、複数の事業所を利用して行くことをお勧めしているのですが、今回見学に参加していただいた保護者の方からは、普段の様子を良くわかって貰っている事業所だと安心できる、との声もいただきました。

強度行動障害研修報告（後期講座）

10月24、25日と県の強度行動障害支援者養成研修に講師して参加しました。10月の実践研修では、強度行動障害の利用者への個別支援計画や基本情報にもとづき、特性に応じた支援の手順書などをグループワークで考えていく研修でした。

こだまでの実践を報告する

今回の研修では、こだまでの取り組みを報告しました。強度行動障害の状況にあった利用者が、長い年月をかけ問題行動がへり、今では生活介護を利用している状況をお伝えしました。

一定の生活リズムができるまで同じ支援を継続しておこなったこと、本人の楽しみや得意を活かすことで生活の幅がひろがり続けていることを伝えました。また、そこで実際に支援にあたった支援者の気持ちや表情の変化なども、動画などを用いて紹介しました。

直近の支援の様子も

自分の気持ちを伝えたり、本人が見通しをもって生活や活動ができるようにと、取り組んで来た実践を報告しました。実際のスケジュールボードやPECS、カレンダーを作っている場面なども紹介でき、興味や楽しみがあることで、活動やスケジュールも生きてくることを伝えました。

研修終了時のアンケートには、表情や行動の変化がみてわかりやすかった、熱意や実践がよくわかったとの感想が多くあり、受講者が研修で学んだこととリンクできたのではないかと思います。

今回の研修で

強度行動障害支援者の研修を受講した数は全国で3万人をこえ、強度行動障害の対象者数と同程度になってきたそうです。必ずしも、これで全国で1対1の対応ができるわけではありませんが、強度行動障害に対する支援の方法が確立された現在、研修で学んだことを各事業所の実践に活かすことができるかが問われていると感じます。

生活1の活動

10月より職員と利用者の異動が少しありました。

せいかつ1では、2人の利用者がせいかつ3からうつてこられました。はじめは、新しい環境（雰囲気）になじめるように、そのメンバーが好きな活動（調理活動）を取り入れました。すると、そのおかげもあってか、すぐに安心した表情をみせられて、活動に参加することができるようになりました。

そして場所の環境も、それまで人数に合わせて整えていきましたが、新しいメンバーが増えたことで、それまでいたメンバーたちがソワソワしはじめ落ち着くことがなかなか難しくなっていました。そこで1週間が経ったころ、机を増やして座る場所も確保しました。この場所でしかお弁当を食べられなかったメンバーたちにも、あまり影響がないようにして環境（場所）を整えていきました。そのかいあってか、今ではみんなが落ち着いて過ごせています。

そして活動では、秋の登山を企画して、東長江町の朝日山と東出雲町の京羅木山へ登りました。昔登ったことがあるメンバーたちは軽やかな足取りで登りはじめましたが、どちらも途中途中の道は険しく、職員たちもメンバーたちもハーハー言いながら登りました。登り切った頂上では、宍道湖や日本海が望める朝日山や、中海や広瀬の街並み、月山富田城跡が見ることが出来る京羅木山は、紅葉もキレイで何とも言いえない景色を見ることができ、そこで食べる昼食はいつも以上に美味しく感じました。

今後はウォーキングや散策を多く取り入れていき、年度末に開かれる松江レディースハーフマラソンに向けて、頑張っていきます。目標は前年度を上回るタイムです。。

【田崎 優】

ほんそごの活動

秋も終わりに近づき、冬が到来したような気候になってきました。そんな中で、ほんそごメンバーは10月、11月と秋の活動を行ってきました。

食欲の秋、芸術の秋、運動の秋と色々ありますが...まずは食欲の秋から。いつも農作業でお世話になっている湖北農園にてバーベキューを行いました。牛肉、豚肉、猪肉！を始め、野菜、ウインナー、ベーコン、海鮮、焼きそばと大盛況でした。具材を焼いたそばから皆で食べ始め、アツという間に焼いたものがなくなっていきました。お腹いっぱいになった後は、農園の芝生でゆっくりと休憩。至福の一時でした！

その他にもハロウィンに合わせてかぼちゃプリン、何が出てくるかお楽しみの持ち寄り鍋、甘さたっぷりのスイートポテト作りなどみんなが大好きな調理活動を存分に楽しむことができました。

芸術の秋では、島根県障がい者アート作品展に出展する作品を皆でコツコツと作り完成させました。可愛らしい絵と、秋をイメージした配色のちぎり絵がマッチして、とても素敵で力強い作品に仕上がりました。この作品が展示されるのが楽しみです。そしてもう一つ、来年に向けてのカレンダー作り。毛糸、木の板、小枝、綿などの材料を使い下絵を作成し、刷っていきました。それぞれの季節を表現した個性あふれるカレンダーの完成。来年になりカレンダーをめくっていくのが待ち遠しいです。

運動の秋では、継続的に行っている、はつらつ体育館での運動に取り組んでいます。体育館内でのウォーキングに始まり、体操、リレー、二人三脚と様々な種目を行い体を動かしています。涼しさから寒さに変わる季節においてもしっかりと体を動かしています。

そして秋と言えばやはり紅葉でしょうか。ほんそごでは総合運動公園、末次公園、平原公園、嫁島公園、風土記の丘など色々な所に紅葉狩りに出かけました。赤や黄色に染まった葉を見ながら散策するのは秋の醍醐味とも言えます。散策途中には、たくさんのお木の実が落ちています。こうしてみると、ほんそごのメンバーで秋を精一杯楽しめたような気がします。もう秋が終わり、冬が来て、そして暖かい春が来ます。色々な活動の中で季節を肌で感じ、楽しんでいきたいと思えます。

【安部裕紀大】



せいかつ3の活動

せいかつ3グループには秋のおとづれとともに、出産・育児休暇を終えた梶野さんと、曳野さんが10月より復帰されました。二人の復帰を心待ちにしていたせいかつ3グループですので、復帰直後から活動の要となって動いていただいています。

力強い職員たちが復職したこともあって、せいかつ3グループは、暑かった夏にはできなかった運動公園などでのウォーキングを多く取り入れて来ました。気持ちのいい天気が続く日は朝・昼・夕方とこだまの近くのウォーキングに出ることもしばしばでした。

11月の前半の活動は、ボジョレー解禁日にプレゼントする木ノ実を使った壁飾りづくりを行いました。運動公園でのウォーキングの途中では木ノ実を拾い集めました。室内の作業では緑に着色した苔を板に貼り付けたり、木ノ実にペイントしたり、流れ作業で木ノ実をボンドで接着したりとみんな大活躍でした。

11月22日には「こだまカフェ」を開催しました。今回は『新そばまつり』をしようということになり、お客さんは、せいかつ1の皆さんに来ていただきました。当初は、そばとキノコご飯のメニューだったのですが、当日は、根菜と鶏肉の煮物、焼き銀杏などもあって秋満載のご馳走になりました。この日のそばは、福井の名物のおろし大根と汁をかけた、「おろしそば」と鯖だしの「隠岐蕎麦」でもてなしました。おろしそばの評判がとても良く、これからこだまの定番そばになっていきそうです。

せいかつ3の利用者の方はそば打ちの実演、調理、銀杏の殻むきなどのほか、ウェイトレスさんやレジ係などそれぞれの得意なところで力を発揮してもらいました。そしてその後は、美味しいそばと、キノコご飯、根菜と鶏肉の煮物の秋満載の料理に舌鼓を打ちました。



ポレポレの活動

クリスマスが近づいてきました。ポレポレはクリスマス前後の金曜日にクリスマス弁当を作っています。内容を少し豪華にしたりクリスマスらしいラッピングをしたり、皆さんに喜んでもらえるようにと工夫しています。去年は雪だるまのキャラ弁を作りました。しかしその雪だるまに思った以上に時間がかかってしまい、一部のお客様には12時のお昼の時間に間に合わないというご迷惑をおかけしました。予想していた以上にたくさんの注文を頂いたこと、事前準備不足が原因だったと思います。そして1年が経ちまたこの季節がやってきました。

今年は去年のような失敗をしないよう11月の初めから準備を始めました。さて、さて今回はどんなお弁当にしようか悩みました。日頃の感謝を込めてこの日くらい豪華なお弁当を皆さんに提供したいと思っていますのですが、、

少しコストを抑えつつ皆さんに喜んでもらえる弁当の試作が始まりました。また去年のよ少しいな失敗がないよう時間配分なども考えなくてはならず、なかなか話は進みませんでした。前日に仕込みが出来るもので（例えばマリネなど）予算をあまりかけず見栄えのするもの案を出しては試作を作りみんなからアドバイスをもらいました。最初に作った試作弁当は「全体的に色がなくて美味しくなさそう」というのがみんなの感想でした。

弁当箱がこの品数できちんと埋まるのか、間があっておかずが動いたりしないか彩はどうかなど、実際に作ってみたいとわからないもたくさんありました。話し合いを重ねメニューがほぼ決まりました。あとは弁当箱のラッピングです。弁当箱に貼るシールには利用者さんにイメージを伝えポレポレのクリスマスらしい絵を描いてもらいました。今回は前回のよう一枚ものをどんと貼るのではなく分割にしてかわいく仕上げました。箸袋にも工夫をこらしています。

前回の反省を活かし今年は11月中にだいたいのが決まり担当を決め動いています。当日のタイムスケジュールなども余裕をもって作成することができました。去年よりたくさんの人達に感謝の気持ちを込めてクリスマス弁当をお届けできるよう、あと一ヶ月、しっかり準備をすすめていきたいと思ひます。

【森山祐子】

ホームヘルプサービス

新しいヘルパーがデビューです

こだまのホームヘルプでは、毎月50人ぐらいの方に延べ500~600時間の移動支援を行なっています。長い期間、移動支援を利用している方は活動の中でも日常生活の中でも、自分できるようになったことが多く見受けられるようになりました。

ヘルパーと一緒に出かけする移動支援では、毎回たくさんの場面があります。我々ヘルパーはバスに乗る際のバスカードを通してもらうことや、券売機でチケットを買うこと、自動販売機でジュースを買うことなど、その時々場面をなるべく自分でしてもらうようにしています。

移動支援では、お金を使う場面が多くあります。移動支援を使い始めた頃は、買い物をすると1000円札で支払いをして、小銭が財布の中にいっぱいになることがありました。毎回、横について100円玉何個、茶色いのが何個、というように金種ごとに行きあげたことで、今では、小銭を使って買い物ができ財布の中が小銭でいっぱいになることはなくなりました。

また、その日持っているお金は全部使い切りたい方もいましたが、買い物の機会が増えてまた次の機会があることがわかってくると、今日使い切らないでも次の機会に使えるという考えができるようになって来ました。その日は我慢して次のお小遣と一緒にして、自分の欲しい物を買えるようになりました。

成長していく子供さんの姿を見てお母さんからも、「経験ってすごいよね」繰り返し何年も続ける事で出来るようになったね、とときどき話して下さることがあります。衝動的だった買い物が、じっくりと計画を立ててできるようになったことなどから、他の生活の面でも変化が出ています。イベント好きで必ず出席していたのですが、最近はイベントをお誘いしても次の日が仕事だと「仕事の方が大切だから」と断られる」こともあります。

イベントに参加して疲れて次の日の仕事を休むとみんなに迷惑をかける、との思いからでしょう。

経験と繰り返しの積み重ねってすごく大切だと改めて感じました。

【井川 樹】



昨年、こだまに入った後ヘルパー研修を受けて、4月からは時々ヘルパーに入らせてもらっていたのですが、10月の移動でホームヘルプの担当になり、夕方入浴介助や休みの日の移動支援などに入らせてもらっています。生活介護で仕事をしていた時とは違った利用者の皆さんの姿を見ることができ、とても勉強になっています。

今回は、ヘルパーに入って初めての経験で嬉しかったことを書きます。先輩ヘルパーの同行で一緒にある利用者の方に入らせていただきました。初めて入らせていただくので緊張していましたが、初めて会った私ともいろんなお話をしてくれました。緊張していた私も気持ちが和んで話をすることができました。利用者みなさんの、「周りを和ませる力」って本当にすごいんですね。

その時に「これあげる」としまねっこの絆創膏をくれました。とても可愛いまねっこの絵があって、小さい事かもしれませんが嬉しくて今も使えず、大事にとっています。

【藤野知美】

11月19日よりヘルパーデビューをいたしました安達です。みなさんこんにちは。

ヘルパーになるまで紆余曲折ありましたが、デビューしてからなかなかほろ苦い幕開けになりました。移動支援や居宅介護など、1対1の場面が多く会話や声掛けなど意識する場面が多い中、バスが行ってしまう。という初心者丸出しのミスもしました。

しかし私が焦っていても、利用者の方々はニコニコとお出掛けを楽しんでおられる様子でした。もっと心に余裕をもって、より良い支援とお出掛けを考えていきたいと思います。

居宅介護ではいつも心がけている「後一工夫」を活かせる場面がたくさんあるので、あまり仕事仕事になりすぎないように思いやりを持って接していきたいと決意しています。

まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願ひします。

【安達和澄】

自律神経は、交感神経と副交感神経からできています。
わかりやすくするために、自律神経を家族に例えてみます。
副交感神経はお母さん。交感神経はお父さん。
お母さんは日常の毎日同じ業務をこなします。



お父さんは日々のトラブルやクレーム処理をこなします。
トラブルやクレームにお父さんは必死になって支えようと頑張りますが、あまり続けると夜も眠れずダウンしてしまいます。

お母さんは毎日同じことを繰り返しますが、それで家族は安定しリラックスすることができます。お父さんとお母さんが、うまく役割分担することで家族は安定します。

このように、自律神経も交感神経と副交感神経がバランス良く働くことで健康が保たれます。バランス良く働くためにはどうしたら良いのでしょうか。家族だったらお互いにいたわりあい尊重しあい、助け合ってお互いにストレスを溜めないようにします。



自律神経も同じように、自分で自分の体と相談して、体をいたわっていく事が必要です。バランスが崩れイライラしても、自分を責めることはありません。それは体の悲鳴だからです。

年末で忙しい毎日と思いますが、皆さんが笑顔で笑って一年を終えますように。

初開催

クリスマスデパート

日時 12月17日 PM4:00~20:00

この企画の事の始まりは、去年のクリスマスにカラコロ広場の合銀の金庫で開催されていた催しに出掛けたことからでした。クリスマスの楽しい雰囲気の中、飲食ブースにクラフト市などたくさんの店ができてとても賑やかで、楽しかったです。来年はこだまでしたいねとの話で盛り上がりました。そしてクリスマスまでの一年を楽しみにしていました。ハロインが終わると、どこも一気にクリスマスモードに変わります。クリスマスデパートに向けて、「こうしよう」、「この方がいいんじゃない」など準備も楽しく進行中です。今年が目玉はアカペラグループ「ひとつの魔法」によるスペシャルクリスマスコンサートです。ぜひお楽しみに。そして飲食ブース、職員クラフト市、手づくり体験コーナーなど盛りだくさんです。ぜひご家族で来て下さい。